

病院・地域との連携を深め、より良い医療サポートを目指していく会社です。

香川文教 株式会社

若手社員に
聞きました

02

INTERVIEW

川原 広大

香川大学医学部附属病院売店 OASIS PLAZA店長



INTERVIEW

岩崎 直斗

社長室 福井香川エリア担当部長

01

1. ユースエール取得のきっかけと背景

香川文教では、社員一人ひとりを「会社の資産」と考えています。特に若手社員の確保と育成が重要な課題です。現在は、給与面だけでなく、キャリアプランや働きがいも求められていることを強く感じ、ユースエールを取得しました。

また、お取引先様として地方自治体様等も多くいらっしゃいますので、会社としてお取引先様に社会的にも信頼感を持っていただきたいという思いも込めて取得いたしました。



2. 具体的な事業内容と地域社会への貢献

香川文教は、地域の医療・教育の現場を支えています。香川大学病院でのカルテや薬の院内搬送、入院患者の食事の配膳、下膳、食器洗浄など、幅広いサービスを展開し、地域社会に不可欠な存在となっています。こうした事業を通じて、地域に根ざした医療・教育施設のビジネスパートナーとしての役割を果たしており、若手社員にもその重要性が浸透していると感じています。特に、地元出身の若手社員は、地域社会への貢献に強い意欲を持っているので、その想いも叶えられる会社づくりを意識しています。

3. ユースエール取得後の具体的な成果

ユースエール取得後、特に20代前半の若手社員の応募が増えました。社員が会社内でキャリアを描きやすくなり、これにより定着率も上がっています。特に、若手社員が「自分の成長を実感できる」環境が整ったことが、彼らのモチベーションを

高め、長期的な雇用につながっています。また、ユースエール認定の取得をきっかけに、社内全体としても若手支援に積極的に取り組むようになり、会社の雰囲気もポジティブに変化しています。



4. 会社の雰囲気

弊社代表が32歳という若さもあり、チャレンジするという文化に対して、非常に寛容な会社です。手を挙げれば性別年齢を問わずにチャレンジできる環境が整っている会社だと感じます。

5. 今後について

今後は、さらにワークライフバランスを改善し、社員が安心して長期的に働ける環境を整えます。地方創生への貢献を含め、地域との強い連携を維持しながら、事業拡大に取り組んでいく予定です。また、若手社員の意欲を引き出し、将来的には彼らがリーダーシップを発揮できる環境を整えることを目標としています。

1. 就職のきっかけ

もともと整備士として働いていましたが、お客様と対話することに対して、楽しさを覚え、より喜んでもらうためにはどうしたらよいか?という思いが強くなり、接客業に興味を持ち、香川文教に転職しました。最初は不安もありましたが、上司や先輩のサポートのおかげで、やりたいことに挑戦できる環境が整っていることに感謝しています。「普通の業務+1のことをすれば印象に残る人になれる」と整備士時代に学びましたが、今まさにその学びが活かせていると感じています。

2. キャリア形成の支援について

香川文教では、定期的な1on1面談を通じて、自分のキャリアプランを上司と話し合います。私も、自分の意見を積極的に提案し、それが実際に反映されることで、自信を持って業務に取り組めるようになりました。

3. 仕事のやりがいについて

年齢や性別、役職に関わらず、上司とのコミュニケーションが取りやすく、やりたいことが尊重されることで、日々の仕事にやりがいを感じています。特に、自分の意見が実際の業務改善に反映されたときは、大きな達成感を感じました。僕が上司に伝えたことも、さらに上の上司に話を通っていると感じるケースも多くあり、良い意味で人との距離が近く、風通しもすごくいいですね。直接社長と意見交換できる機会もあるので、ありがたいです。

4. 今後の目標と期待

私は店長として、職場の改善に取り組みたいと考えています。特に「当たり前」とされている業務を見直し、小さな変化を積み重ねることで、サービスの質を向上させていきたいです。また、年齢や経験に関係なく、常に新しいことに挑戦し、成長し続けることを目指しています。今後はさらに多くの責任を任せられ、リーダーとしての役割を果たしていくことが目標です。

